

1 事業概要

		課名	美術博物館	事業No.	327
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始	H1	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画		4	自然と歴史を守り活かし伝え、新たな文化をつくりだす	
	分野別計画			第2次飯田市教育振興基本計画	
				飯田市美術博物館2028ビジョン・基本プラン	
法令・例規等			博物館法		
			飯田市美術博物館条例		
事業目的		対象	飯田市民及び下伊那郡住民、観光客 伊那谷に関する自然・人文・美術に関するテーマ、芸術		
		意図	「伊那谷の自然と文化」への理解を深める		

2 事業内容

29年度取組	取組内容		経費の内容					事業費(千円)												
		<p>菱田春草常設展示をスタートしました。</p> <p>特別展「創画会70周年記念展」、第18回現代の創造展、特別陳列「没後210年佐竹蓬平」、コレクション展示「綿半陶磁器2017」「熊谷好博子の意匠」「飯田の文雅(前・後)」「須田尅太・原鼎・藤本四八」「綿半陶磁器2018」「現代日本画コレクション」を開催しました。</p> <p>国史跡指定記念企画展「飯田古墳群」を開催しました。</p> <p>企画展「世界最南端のライチョウがすむ南アルプス」を開催しました。</p> <p>自然・文化展示室リニューアルの準備を進めました。</p> <p>柳田國男館・日夏耿之介記念館の展示を行いました。</p>		菱田春草常設展示	10,797	企画展「ライチョウがすむ南アルプス」	2,287	企画展「飯田古墳群」	1,977	コレクション展・特別陳列・特別展等美術展示	2,294	自然常設展示	793	人文常設展示	264	柳田國男館・日夏耿之介記念館展示	78	部門共通	1,388	その他の経費
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	平成32年度実績													
	展覧会の数 (更新を含む)	本	18	17																
	観覧者数	人	30,744	33,208																
29年度決算(千円)	予算額	20,954	特定財源内訳及び補足事項																	
	決算額	19,878	(国) 社会資本整備総合交付金 (市街地整備) (4.5/10)																	
	財源の状況	国庫支出金	4,210	(そ) ふるさと寄附金 1,537千円																
		県支出金	0	(そ) 諸収入 50千円																
		地方債	0																	
		その他	1,587																	
一般財源	14,081																			

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	6	11	1	167	78	美術博物館事業費
2	1	10	5	6	11	18	10,098	10,097	菱田春草顕彰事業費
3	1	10	5	6	11	20	9,964	8,978	展示公開事業費
4	1	10	5	6	11	21	725	725	美術鑑賞機会提供事業費
5									
6									
7									
振り返り課題認識		<ul style="list-style-type: none"> <li>・開館以来の悲願であった菱田春草の常設展示を開始できたことは大きな成果でした。今後は春草の故郷にある全国で唯一の春草常設館として情報発信に努める必要があります。また、この展示を核として美術展示を組み立てる必要があります。</li> <li>・数年来の課題である自然・文化展示室リニューアルに向けた本格的な取り組みが必要です。</li> <li>・飯田古墳群の国史跡指定や南アルプスのエコパークにあわせたライチョウ展等、時機を捉えた展覧会が開催できました。</li> </ul>							
上記の課題解決のための有効策		<ul style="list-style-type: none"> <li>・春草の常設展示開催を広く全国にPRする必要があります。</li> <li>・自然・文化展示室リニューアルについては広く学校教育・社会教育関係団体等との協議を経て、限られた予算でより有効な展示内容にできるよう進める必要があります。</li> </ul>							
次年度に向けての取り組み		<ul style="list-style-type: none"> <li>・菱田春草や「伊那谷の自然と文化」の魅力を発信できるよう、広報に工夫をこらすとともに、作品の修復や資料整理、調査研究を一層進めます。</li> <li>・自然・文化展示室リニューアルに向けて、学校や社会教育団体等、市役所内での合意形成を大事にして進めていきます。</li> </ul>							